

宮城と漁業と外国人材

2025 年 2 月 1 日 (土)
14:00~15:45 (開場 13:30)

JICA 東北プラザ (定員 50 名)
仙台第一生命タワービルディング 20 階
仙台市青葉区一番町 4 丁目 6-1
地下鉄勾当台公園駅南 3 番出口より徒歩 2 分
バス停「商工会議所前」すぐ

入場
無料

お申込フォーム



URL
<https://forms.office.com/r/GK6DZi5Sw1>

プログラム



I. JICA が実施する外国人材受入等の取組

JICA 理事長特別補佐 穴戸 健一

外国人材受入・人材育成 (技術移転)・多文化共生について、JICA が実施する取組を紹介するとともに、課題を提起します。



II. カキ養殖とベトナムのつながり

(株) ヤマナカ 代表取締役 高田 慎司氏 (石巻市)

JICA 中小企業・SDGs ビジネス支援事業を活用しベトナムでカキ養殖の技術移転と人材育成を行っているほか、石巻市の本社工場で技能実習生と一緒に働いている状況についてお話しします。



III. 宮城の漁業を支える人々

(株) 宝進丸所属 第二十三宝進丸 カシワン氏 (インドネシア出身)

(特活) 石巻漁業実習協議会 島村 千景氏 (石巻市)

石巻では、公的な枠組みからスタートした漁業分野での技能実習生・特定技能外国人の受け入れが行われています。現場のお二人の話から、漁業の多文化化の現状について考えます。



IV. 参加者と登壇者のパネルディスカッション